

草木あふれる三千坪の邸内をめぐりながら、 体感し手にして感じる歴史の旅を心ゆくまでお楽しみください。

【史跡内施設のご案内】

**お郷
体土
み館
処**

懐かしい旧家のぬくもりの中、緑溢れるお庭の景色をお楽しみください。
(不定休)



**お食事処
稲庭古来堂**

秋田の食文化を今に伝える、伝統300余年稲庭うどん。さらりとした風味と麵腰の強さをお楽しみください。
(不定休)



カフェ館

アンティークな雰囲気の中、コーヒーなどが楽しめる喫茶室とミュージアムショップ。





無料体験メニュー

刀・片刀槍の実触 **兜体験**

籠掻体験 **蓄音機再生**



有料体験メニュー

母屋特別拝観 **きものレンタル**

鎧着用体験 **お抹茶**

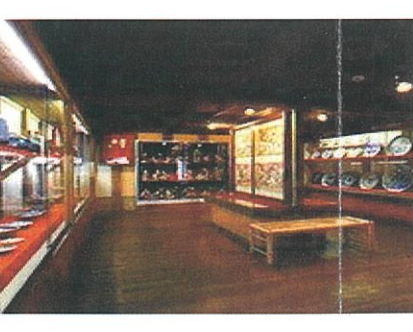




懐かしい旧家を移築。
【秋田郷土館】 MAP⑤
あきたきょうどかん
あたたかな東北の暮らしぶりを今に伝える郷土館。2階は歴史資料の展示、1階は美しい庭を眺めながらお抹茶を楽しめる茶寮と伝統工芸品の紹介や販売がごさいます。

武家の暮らしを学び、
武家の心に触れる。
【武家道具館】 MAP⑦
ぶげどうぐかん
土蔵利用した館内には、当時の武士の生活様式を伝える武家道具が並んでいます。青柳家に代々伝わる文献書籍や押絵、焼物、絵皿……。それらの道具たちは、それぞれの時代を懸命に生きた人々の姿を、静かに物語っています。

懐かしきハイカラ文化が目の前に蘇る。
【ハイカラ館】 MAP⑪
はいからかん
平賀源内、小田野直武など角館ゆかりの先人の先取的思想とハイカラ指向を受け継ぐアンティークミュージアム。時代を超え、研ぎ澄まされた匠の技と造形美を備えた逸品が揃う全国屈指のアンティークコレクションです。



四〇〇年の歴史を語る武家屋敷。芦名氏の家臣として常陸佐竹氏の国替えにより角館に入った青柳家は芦名断絶後佐竹北家に仕え、南部境目山役を務め、主君の繁栄を支えました。【薬医門】 やくいもん MAP①
万延元年、藩への功績が認められ特別に許された青柳家の薬医門。門はその家の位や威信を表すとされていた当時、上級武士にしか許されない重厚で格調高い造りは、青柳家の誇りでした。そして今、その肅とした姿は角館の象徴となり人々の営みを見守り続けています。

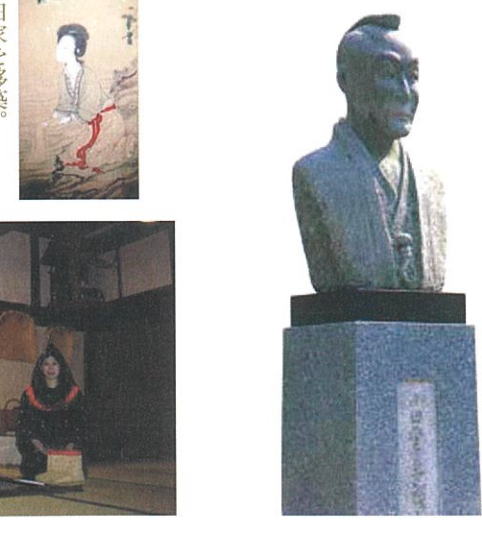


重要文化財
【青柳家母屋】 MAP②
あおやけおまや
青柳家母屋は、約二〇〇年前の建築のままに、厄除けの意味を込めた鬼板や懸魚等で意匠をこらした玄関、座敷内の板間にほどこされた家紋の透かし彫り、雪国特有の廻り縁など、武家らしい威厳に満ちています。
特別公開 母屋内部をガイドがご案内する「母屋探訪ツアー」も開催されています。
※要予約

【武器蔵】 ぶきくら MAP③
武士の魂を宿した鎧兜に息をのむ。
この武器蔵には、青柳家のルーツを伝える貴重な武具や、江戸時代からの文献が収められています。家宝である六十二間小星兜、五輪塔旗印、藤原高真による秋田郷土刀。家の誉れを象徴する数々の武具には、武士としての誇りが宿っています。



わが国初の『解体新書』にスポットを当てた資料館。
【解体新書記念館】 MAP④
かいたいしんしよきねんかん
1774年安政三年に、日本最初の本格的な西洋医学の翻訳書として発行された『解体新書』。その附図を描いたのが角館出身の武士で青柳家の親戚にあたる小田野直武でした。直武の偉業と『解体新書』の附図、また直武と交流のあった人物の作品を展示いたしております。



秋田蘭画の創始者
【小田野直武像】 おだのなおたけぞう
青柳家と婚姻関係にある小田野直武は、平賀源内に師事、秋田蘭画を確立し、『解体新書』の挿絵を描き、その名を高めました。西洋の陰影法を取り入れ、後の洋画界に大きな影響を与えた秋田蘭画は、小田野直武と、時の秋田藩士・佐竹義敦によって完成されました。